

ふるさとの鼓動  
北に生きる心  
むすんで

# こぶし

第120号

2006年1月1日発行

発行責任者：横井正人

編集：機関紙局

特定非営利活動法人 民族歌舞団こぶし座

北海道函館市陣川町 122-172

TEL/FAX: 0 1 3 8 - 5 4 - 2 8 5 9

年 4 回 発行

E-mail: kobusiza@m19.alpha-net.ne.jp

http://www.aa.alpha-net.ne.jp/kobusiza

主な内容

- (1) 新年のごあいさつ
- (2) 座員 新年の抱負
- (3) 一般公演の取り組みから
- (4) お知らせ

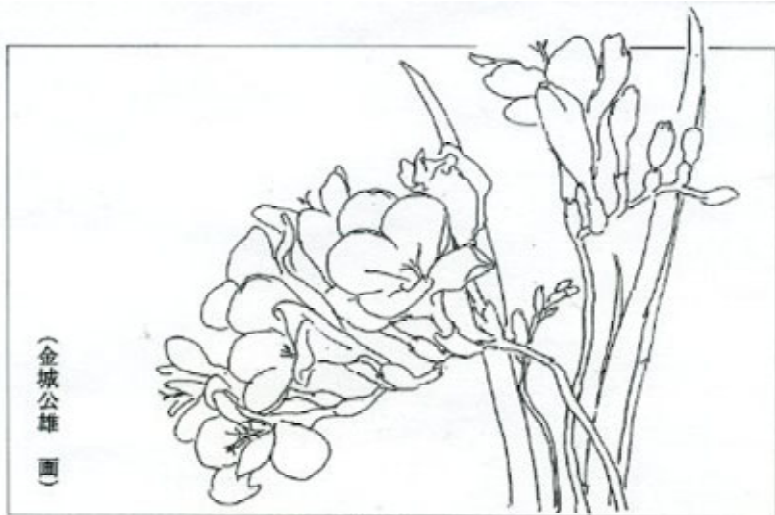
## 謹賀新年

本年もぜひどうぞよろしくお願い致します

二〇〇六年元旦

特定非営利活動法人(NPO法人)

民族歌舞団こぶし座社員一同



(金城公雄 画)

- 理事長 横井正人 (座員)
- 理事 中尾雄児 (座員)
- 理事 計良 徹 (座員)
- 理事 計良正子 (座員)
- 監事 金城公雄 (座員)

- 古川喜美子 (座員)
- 横井ひとみ (座員)
- 松岡智恵美 (座員)
- 田畑悟志 (座員)
- 村田さつき (座員)
- 橋本かおり (職員)
- 岩島 司
- 梶原康男
- 國田修司
- 西東英範
- 西東一葉
- 志賀松 晋
- 志賀松智恵美
- 三浦恒雄
- 三浦芙美子

## 新年のごあいさつ

理事長 横井正人

皆さん、明けましておめでとございませう。

昨年の創立四十周年記念事業の「祝賀会」や、「北に、生きる心むすんで」の出版に際しまして、多くの方々のお励みやご協力を頂きましたことに厚くお礼申し上げます。

また、昨年は元旦の京都公演から始まり保育園、学校、一般公演、講座・講習など様々な場面で多くの人達と出会い、たくさんのお感動をもらいました。私達をあたたく迎えてくださった皆さん、ほんとうにありがとうございました。

さて四十一年目の今年は、二つの大きな目標に向かいます。一つは六月にこぶし座後援会を柱として実行委員会形式で行われる四十周年の記念公演を成功させ、その作品を持って北海道各地の皆さんの所へと飛び出すことです。演目には神楽と共に生きてきた「漁師の昔語り」や北海道と古くから関わりの深い「津軽・南部の芸能」などを取り上げます。

真剣に芸能を受け継いできた保存会の方々の芸能に対する愛情や情熱、厳しい風土と歴史を生きぬいてきた祖先の想いなどを深めながら、六月の公演を目指し稽古に励んでいます。

二つ目は、これからの時代を見据え、NPOの精神を具体化するために設けた「こぶし座基金」の取り組みを前進させることです。これはこぶし座を応援して下さる皆さんのお気持ちを基金として預託を受けるもので、伝統芸能の研究と継承、作品の創造、演技者の教育と訓練、公演の普及、集団の運営と維持などに運用します。

皆さんのご協力を心よりお願い申し上げます。

世の中の動きをみると政治や経済、文化の荒波はいつそう厳しく私達に押し寄せて来そうですが、それを押し返し一丸となつて進んでまいります。そして、今年こそ新しい仲間を迎え、皆さんと共に歩いていきたいと思っています。

いつそうのご支援をお願いいたしまして新年のごあいさつといたします。

今年も元気に！

# 座員新年の抱負

年の初めに：

計良 徹

「日々、充実。」 昨年の抱負である。正直、かみしめている間もなく「しきって来た！」のが率直な感である。

言い訳するが、心豊かな日々を送りたいがための言葉だったのだ。しかしながら、「日々」では、いやはや、あまりにも忙しかった。

でも、「待てよ...?!」とも思う。『心豊かに日々を送る』：人間としてあたりまえの願いを叶えることこそ厳しい時代にあつて、「忙しい」などと口にしてしているようでは、ジ・エンド！

そこで今年、『多忙な日々とさわやかに向き合い、信念と情熱をもって事にあたる年』にしたい。

五十代最初の一年目に。



村田さつき

健康第一で一年を元気に過ごすこと。心身の健康あつてこそ座活動も楽しみながら意欲をもつてとりくめると感じています。

そして、今年もより多くの方々と共感の輪を広げていけるような演技者に成長できるようにハングリー精神で向かいたいです。ファイター発!!



新鮮な気持ちで第一歩

古川喜美子

昨年40周年の祝賀会では、座を支え、応援して下さいたいという懐かしい方達とお会いすることが出来ました。

入座して38年間、北海道各地で私達を迎え、公演を準備して下さいました沢山の皆様との出会いが喜びとなり励みとなり、続けていくことが出来ました。ありがとうございました。

失敗を恐れず前へ一歩

横井ひとみ

本部事務局や学校公演依頼活動、函館講座準備など、いろいろな仕事を通じて沢山の人たちと出会い刺激をもらう事が出来た昨年。

失敗も沢山し、その度自分の足りなさを痛感した。でも痛い思いをしてつかんだものがある。

今年も失敗を恐れず前へ一歩で努力をしよう。ひとつひとつ着実につかみ自信をつけて行きたい。



昨年の夏から本部での仕事に就いています。

函館を中心にまた新しい出会いをつくり、新鮮な気持ちで楽しく、一歩・一歩前に進もうと思っています。

手足参考

中尾 雄児



若い時は、何が正義か頭だけで考えて、それをやればよ

田畑 悟志

昨年の十月で四歳になった我が家の息子。生意気さかりで手を焼くことも多々ありますが、日々の成長に親として喜びや責任を感じています。

今、公演部は六月初演に向けて新作の稽古の真っ最中。どちらも大変ではあります。が共通しているのは愛情を込めて育てていくこと。

私自身が多くの人に支えら

みんなの中へ

計良 正子

座の40年の歴史をなんとか継続させたい。その一念でがむしゃらに走り続けた昨年。

自分を信じ、仲間を信じる事の大切さをいっそう深く胸に刻み込んだ。厳しい時代だからこそ、生きる勇気と希望を生み出す舞

新しい作品を

横井 正人



昨年の公演で、各地で一生懸命生きていた人達に出会い、いっばい感動をもらった。今、語りや津軽三味線など新しい課題に挑戦中。一つ一つの積み重ねが少しずつ身体に入ってくる。今年も新しい作品で心をおい合わせるぞ！

松岡智恵美

「生きる」を学び

自分をみつめる

自分を磨く

仲間を語る

仲間と進む

仲間と共に

明日を拓く

歴史を繋ぐ

台を創りたい。

今年こそ、みんなの力で新しい作品を仕上げ、こぶし座らしい公演を北海道中に広めろぞ！



「一難去らずにまた一難の連続に頭から煙を出し続けた昨年。今年も火を噴くかも。」そこで覚悟は決めました。励ましと勇気をくれた、たくさんの方々の笑顔に、前進！

# 昨年の地域公演より

三つの地域の方たちから感想とお手紙を寄せていただきましたので紹介します。

## 室蘭の地に

### 「笑顔の花」が 咲きました

室蘭 吉田 義彦

こぶし座公演実行委員会を組織するのは20年ぶりのことです。以前は「えりも町」で、今回は「室蘭」。人口規模のちがう「室蘭」で、はたして多くの人に知ってもらい足を運んでもらえるのか…。かいもく見当がつきません。二の足を踏むわたしの元へ座の中尾さんが何度も足を運んでくれました。「実行委員会をぜひ組織してほしい」と大きな目玉で訴えかけてきます。20年ぶりに「あたらしい人との出会いをたのしみ」「ワクワクすることを自分でつくる」と決めました。実行委員会は5人からのスタート。地元のジャズフェスティバルをつくってきた元気な若者。護憲運動をおこなっているハートフルな市民運動家。親子劇場にかかわり地元公演活動に詳しい教師。そして、何でも相談ができる職場の同僚。さらに、市内の小学校のPTA会長さんが実行委員長を引

いでした。

当日、開場10分前ぐらいから、もう人がズラリと並びはじめました。途切れず人が次々と集まってきました。入場者「300人」!!(予想より50人も多い数)公演が終わったあとのアンケートの厚さにふたたび、びっくり!じわじわと公演成功の実感がわいてきます。こぶし座に感謝のEメールを送りました。

「私の耳の中には、まだもちつきばやし の笛の音が鳴っています。あちらこちらから聞こえる評判もいものばかり!ステージの踊り手と一緒に、ちびっ子たちが踊りはしゃいでいた姿に、ああ、やっぱり こぶし座 はまちがいない。すばらしい集団だ、とまた思いを深くしました。室蘭の地でたくさんの「笑顔の花」を咲かせる事ができたこと、改めて感謝いたします。」

室蘭の実行委員会二ユースのタイトルは「笑顔の花」でした。悲しみや憎しみの花ばかりが目立つ時代に、笑顔の花はますます美しく思えるのでした。「こぶし座のいくところ、うつくしき笑顔あり」です。

## こぶし座北見市公演を終えて

北見市公演終了。

代表 石崎 恵美子

十一月二十五日。こぶし座北見市公演終了。

「楽しかったです。良かったです。」という私共の大人会員の言葉を聞いて、「やっ」と一息つきました。

「こぶし座」との出会いは今から十七年前のこぶし座北見公演でした。当時、「民舞を楽しくて」の会員と「トマトの会」のメンバーが、合同で江差のもちつき囃子を舞台で演じさせて頂いています。雪の降る寒い冬の二日間。さわやかな笑顔と熱心な御指導を

公演後間もなく写真と共に本部に届いたうれしいお手紙です!

## こぶし座の皆様

先日は、東藻琴公演ありがとうございました。見に来てくれた住民の方々は、十分に満足して帰ったことと思います。

交流会にもお付き合いました。また、ぶしつけで失礼な質問をいたしました。申し訳なく思っています。

私達の心に残して下さいました。

今年の北見市公演のお話は、私共のいくつかのイベント演奏が予定されていた時で、急な事でしたので、一抹の不安がありました。しかし、初心者の多い大人会員の結束と交流を目的に、一つ頑張つて成功させてみよう、他の団体の応援をお借りし、当日を迎えさせて頂きました。

講習会では、大人会員だけの大きな舞台演奏は初めてなので、休みを減多にとれない会員も、「こはひとふんばり」と必死に杵を振り、もちをつきました。厳しさの中にも明るい声で体育館に響きました。また、社会人になって一時演奏活動から離れていた元ジュニア会員も今回の演奏から参加してくれ、会員の輪が広がる側から言つと、ありがたい話ですが。

おそらく、皆さんの演技力と迫力に感銘して、喜んで帰ると、また見たいという気にさせるのでしょうか?

今回の公演の写真を送付します。ご覧ください。寒くなってきましたが、皆様お身体にお気を付けてください。

敬具

東藻琴村教育委員会

菊地 幸夫

つた事も大きな喜びでした。私自身も、いつかは生でお囃子をしてみたいと思つていた演奏が出来、子どものように胸がワクワクしていました。横井さんの合の手は、十七年前に感動していたので、一つでも盗んでやろうと必死でした。

公演当日は、来場下さつた邦楽関係の方々を初め、多くの方々から「とても良かったよ。」「勉強になりました。」と、口々に声をかけられ、こぶし座をお招きして良かったと改めて嬉しく思いました。地域の郷土芸能を、誠実に掘り起こして下さつているこぶし座の四十年間の歴史の重みが胸にぎざまれた時間でした。こぶし座の皆様には心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

創立40周年記念出版

「北に、生きる心むすんで」

編・著 國田修司

皆さまの「ご購読を

心よりお願い致します

昨年のごぶし座創立40周年にあわせ出版しましたところ、全国各地の方々から温かい励ましをいただきました。本当にありがとうございます。なお、ごぶし座をより一層ご理解頂きたいとの願いから引き続き販売を推し進めておりますので、ぜひ、販売強化にお力添え下さいますようお願い致します。

ここで、江別市在住の後援会員・斉藤潔さんからお寄せ頂いた感想をご紹介します。

「北に、生きる心むすんで」

- 民族歌舞団こぶし座 40年の歩みと作品 -

編・著 國田修司

A5版 435ページ

定価 1,800円(税込み)

送料 340円

戦う労働者と音楽の深い関係を改めて感じさせていただきました。しかし、今日の労働闘争は、労使の形ばかりの交渉劇・政治家との駆け引き事と化し、差別感が増大、弱者労働者は益々偏狭に追い込まれてきているように感じます。地方を切り捨て、労働者を単に都市企業の駒として使い捨てる現況の中で、民族歌舞を継承していくのは極めて難しい時代になってきているように思います。

しかし、こんな時代だからこそ、人間本来の姿とはどうあるべきかを今一度考え直す必要があります。この本は、そんな人間本来を取り戻すきっかけになる優れた著作のように思います。

國田氏の労に敬意を表します。ありがとうございました。

北海道子どもの本連絡会 斉藤 潔

『座員拡充』に  
皆さんのお力を！

これまで様々な座員募集の運動をおこなってきましたが、ここ五年ほど新入座員を迎えるに至っておりません。

「あと一人いたら！」

仲間が増えることがどれだけ私達の力となり夢が広がることになっていくか！

座員一丸となって向かっていかなければならない必須の課題ですが、力が及んでいないのが現状です。

そこでお願いです。皆さんの周りに生き甲斐を求めている若者はいませんか？「この人こぶし座にどうだろう？」という方がいましたらぜひご一報ください。

『座員拡充』に皆さんのご協力、お願いします！！

座員募集推進室

担当 田畑・村田

【1～2月公演予定】

- 1/16 函館市高砂保育園
- 1/17 函館市青い鳥保育園
- 1/17 七飯町みどり保育園
- 1/18 函館市つくしの子保育園
- 1/19 函館市杉の子保育園
- 1/19 函館市上湯川保育園
- 1/20 函館市人見保育園
- 2/09 函館市ちとせ幼稚園
- 2/10 八雲町国の子保育園
- 2/13 札幌市たいへいみなみ幼稚園
- 2/14 札幌市かつこう幼稚園
- 2/15 札幌市第一福ちゃん保育園
- 未定・札幌市くまの子保育園
- 2/16 札幌市東川下ポッポ保育園
- 2/17 札幌市第二福ちゃん保育園
- 2/17 札幌市すずらん幼稚園

～ 41年目の新たなる船出～

創立40周年記念公演

いよいよ、開催準備始まる！

...新作演目など内容詳細は次号にて...

乞うご期待...?!

と き：6月20日(火)

18時30分開演

ところ：函館市芸術ホール

主催：こぶし座公演実行委員会(仮称)

『こぶし座後援会』  
- 入会のご案内 -

この後援会は、こぶし座を物心両面で支え励まし応援していこうという仲間たちの団体です。現在、約700名に会員の輪が拡がり、座員との交流をはかりながらいろいろな行事も行っています。

年会費 1,200円/1口

問い合わせ先

こぶし座後援会・事務局

(0138)54 - 2859

こぶし座会館内

お詫び

前号機関紙・計報の記事で計良芳枝さん(享年82歳)と記しましたが(享年86歳)の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

編集後記

昨年の12月、65歳で亡くなられた道議会議員の日高令子さんの葬儀に参列しました。日高さんは座の創立に参加し17年間座員として活動をしていた方で、退座した後日本共産党の専従者として活動を続け、函館市議会議員をへて北海道道議会議員となり活躍してました。残念なことにその最中、病に冒されたのでした。

病氣と闘いながらの命がけの議会議員と信念を貫き通した生き方が、志なげにして終止符を打たなければならなかった彼女の無念さとともに、私の胸をえぐりました。告別式での代表の方々のお別れの言葉を聞きながら、只ただ涙が溢れてきました。

27年前、入座したての何もわからない新米の私を、ぐいぐいと引つ張り育ててくれたのが日高さんでした。

心から平和を願い、底辺に生きる人たちに寄り添い、働く人たちと共に生きぬいた。その遺志を受け継いで、こぶし座の活動を押し進めていきます。

ご冥福を心からお祈りいたします。

正子